

# 関東学院大学 社会学部 アドベント企画

世界の平和と未来を考える集い

12/22  
木

昨年から今年にかけて、世界中の人々にとって差し迫った課題であると認識された難民問題。実は日本にも、毎年多くの人びとが難民として来日しています。しかし、日本政府が難民認定をする人はごくわずか。そうしたなか、難民問題の現状、支援と制度上の課題、難民が社会の一員として暮らしていけるような受け入れのあり方や地域づくりなど、国民一人ひとりが深く考え行動することが求められています。平和の主の到来を心から待ち望むアドベントにおいて、人種・民族の違いなどを理由とする差別をなくし、違いを認め合い、相互に支えあう社会をつくるためには何が必要か、学生と市民が学び合う集いを開催します。

## 私たちが若者にできる 難民支援とは何か



### プログラム

- 13:15~13:25 ●開会あいさつ  
大澤善信：関東学院大学 社会学部長
- 13:25~13:45 ●第1部 活動報告「タイにおけるミャンマー人の生活の現状」  
山口稔 関東学院大学社会学部教授
- 13:50~14:40 ●第2部 発表「日本における難民の現状 -難民の声と支援の現場-」  
岩瀬香奈子氏 株式会社アルーシャ代表取締役  
ギニア出身難民の方
- 15:00~15:50 ●第3部 発表「第二の祖国神奈川に生きて-平和と自由を求めて-」  
トルオン・ティ・トウイ・チャン氏 在日外国人支援者（ベトナム出身）  
コーディネーター 河内智之氏 NPO 法人 未来をつかむスタディーズ代表
- 15:50~16:00 ●閉会あいさつ  
齊藤貞夫：関東学院大学 地域連携ボランティアセンター運営委員長・客員教授

日時：12月22日（木）13:15~16:00

場所：関東学院大学 金沢文庫キャンパス K310 教室

申込：事前申込は不要です（対象：学生 地域住民 関連団体の方）

参加費：無料

問合せ：関東学院大学 社会学部 地域連携ボランティアセンター 045(786)8979

主催：関東学院大学 社会学部 地域連携・ボランティアセンター  
協力：神奈川県共同募金会